

はじめて学ぶ 歯科衛生士のための 咽頭喀痰吸引マニュアル

呼吸器のリスク管理と実践

谷口裕重・渡邊理沙 編著

柴田享子・長縄弥生・三鬼達人・村松恵多 執筆

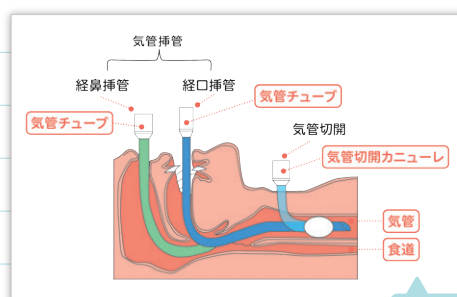
- B5判 / 128頁 / カラー
- 定価 5,500円(本体 5,000円+税10%)
- ISBN978-4-263-42309-7
注文コード: 423090



- 歯科訪問診療の現場で、歯科医療従事者との対応として実施に迷うといわれているのが、咽頭喀痰吸引です。
- 本書は咽頭喀痰吸引の基本的な手技のほか、呼吸器にかんするリスク管理の方法についても解説。歯科のために書かれた、はじめてのマニュアルです。
- 本書で適切なリスク管理と実施のための法的解釈を理解したうえで咽頭喀痰吸引について学び、訪問診療の場で歯科としての専門性を発揮していきましょう!

本書に書いてあること

- なぜ歯科衛生士がリスク管理を学ぶのか
- 呼吸器に関連する解剖・生理学
- リスク管理に必要な全身状態のアセスメント方法
- 胸部聴診、頸部聴診の方法と聴診音の聞き分け方
- 呼吸療法に使用される医療デバイスの基礎知識
- 肺理学療法
- 喀痰吸引の実際

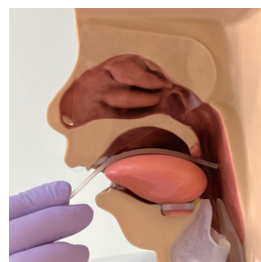


人工気道の種類

徒手の排痰手技
(スクイーミング)



カテーテルは
舌にはわせて挿入する



I章

なぜ歯科衛生士が リスク管理を学ぶのか

- ①リスク管理の必要性
- ②昨今の歯科衛生士の臨床現場
- ③歯科衛生士が対応する患者の疾患、
障害の複雑化

II章

呼吸器に関連する 解剖・生理学

- ①誤嚥，窒息，嘔吐を予防する
- ②誤嚥した際の抵抗力を高める

III章

リスク管理に必要な 全身状態のアセスメント方法

- ①症状からのアセスメント
- ②歯科衛生において考えられるリスク
- ③疾患別アセスメントポイント

IV章

胸部聴診，頸部聴診の方法と 聴診音の聞き分け方

- ①聴診器
- ②胸部聴診の実際
- ③呼吸音
- ④頸部聴診

V章

呼吸療法に使用される 医療デバイスの基礎知識

- ①呼吸器の問題に対して導入される
デバイスの種類
- ②気管挿管と気管切開
- ③人工気道を有している患者の注意点
- ④酸素療法に利用するデバイスの特徴，
観察のポイント
- ⑤人工呼吸管理に使用するデバイスと特徴，
観察のポイント

VI章

肺理学療法

- ①肺理学療法の適応と必要性
- ②呼吸訓練と排痰法
- ③肺理学療法の方法

VII章

喀痰吸引の実際

- ①歯科衛生士が喀痰吸引を実施するための
法的根拠と実施要件
- ②吸引の必要性を判断するポイント
- ③口腔・鼻腔・気管からの吸引方法

医歯薬出版 ご注文承り書

はじめて学ぶ歯科衛生士のための咽頭喀痰吸引マニュアル

注文コード 423090 ()冊

●納入店ご指定希望

※納入店のご指定の場合
手数料はかかりません。

（ご指定納入店名

●直送希望

（2つの方法から
お選びください）

① 代引 450円

② 後払い 400円

※直送は、注文書到着の翌営業日（土日祝日除く）に発送します。②の請求書は（株）ネットプロテクションズから別送します。14日以内にお支払いください。返品は受付できません。

●お名前

●TEL

●ご住所（〒 — ）

★必要事項をご記入のうえ、FAX 03-5395-7633 にご送信ください。★弊社ホームページ <https://www.ishiyaku.co.jp/> からご注文いただけます。

医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL03-5395-7630